

令和8年10月5日

名古屋商工会議所

名古屋商工会議所×名古屋大学×シンガポール国立大学（NUS）が連携！
会員企業の東南アジア進出と新規事業創出を支援する
「産学官連携イノベーションプログラム」を始動【参加企業募集】

名古屋商工会議所と名古屋大学シンガポールキャンパスは、会員企業の東南アジア展開や新規事業創出を支援する「産学官連携イノベーションプログラム」を開始します。

本プログラムでは、名古屋大学とシンガポール国立大学（NUS）の学生混合チームが専門家メンターの指導のもと、各企業の関心テーマに応じた東南アジア進出や新規事業のアイデアを検討・提案します。

報道各位におかれましては、本取り組みの周知につきまして格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■募集テーマ：東南アジアへの事業展開、新規事業（イノベーション）創出のアイデア検討

■実施時期：2027年1月8日（金）～3月26日（金）

■企業負担：無料（最大3社。選考あり）※名古屋商工会議所・会員企業が対象

■応募締切：2026年10月30日（金）

■本プログラムの特徴

1. 名古屋大学×シンガポール国立大学（NUS）の優秀な学生による混合チームが、貴社の課題や構想に真剣に向き合い、英語での最終プレゼンテーションを行います。
2. シンガポールと日本のビジネス現場を熟知し、グローバルIT企業やベンチャーキャピタル、アントレプレナーシップ教育の第一線で活躍する強力なメンター陣（今泉寛氏、鈴木翔一郎氏、織田一彰氏、吉田芳弘氏）が学生チームを直接指導します。

■課題提示から解決プラン提案までのプロセス

- ・STEP 1：課題・テーマの提示（10月末）
企業から東南アジア展開や新規事業のテーマを提示。
- ・STEP 2：チーム編成（11月末）
テーマをもとに名大・NUSの学生混合チームを結成。
- ・STEP 3：ワークショップ・授業（1月～3月）
全6回の集中講義で、専門家の指導のもとアイデアを構築。
- ・STEP 4：最終アイデア発表（3月26日予定）
新規事業のコンセプトアイデアを企業へ英語で発表。

■申込方法 下記URL・二次元コードよりお申込みください。

<https://answer.cci.nagoya/mono/?code=2656c351>



■申込・問合せ先について

名古屋商工会議所 産業振興部 モノづくり・次世代産業グループ 岡崎

電話：052-223-6750 Email：monozukuri@nagoya-cci.or.jp



Singapore

産学官連携イノベーションプログラム 参加企業募集！

～名古屋大学×シンガポール国立大学(NUS)の知見を活用するイノベーション実践授業～

名古屋商工会議所と名古屋大学シンガポールキャンパスが連携し、会員企業の皆様の東南アジア展開や新規事業（イノベーション）創出のきっかけづくりを支援する実践型授業プログラムを開始します。

本プログラムでは、授業の一環として「Venture Building（事業立案・検証）」の科目を履修する名古屋大学およびシンガポール国立大学（NUS）の学生チームが、貴社の関心テーマやビジネスの構想をもとに、東南アジア展開や新規事業の第一歩となる「アイデア案」を検討・ご提供いたします。

<プログラム概要>

実施時期	2027年1月8日（金）～3月26日（金）（詳細は裏面参照）
対象テーマ	東南アジアへの事業展開、新規事業（イノベーション）創出のアイデア検討等
連携体制	・東南アジア市場や事業立案に詳しい専門家チーム（講師陣） ・名古屋大学、シンガポール国立大学（NUS）の現役学生
企業負担	無料（最大3社。選考あり）※名古屋商工会議所・会員企業対象
応募締切	2026年10月30日（金）

■ 大学機関紹介

■ 名古屋大学シンガポールキャンパス

名古屋大学がグローバル展開の拠点としてシンガポールに設置。

本プログラムの連絡事務所として、会員企業の皆様の現地での事業探索、関係者との調整、専門的な助言をワンストップでサポートします。

地元の知見とグローバルなネットワークを繋ぐ架け橋となります。

■ シンガポール国立大学（NUS）

アジア第1位（QS世界大学ランキング）を誇る、世界屈指の名門大学。

そのエコシステムは世界中のスタートアップや投資家が集まるハブとなっており、

本プログラムではNUSの優秀な学生やイノベーション・ネットワークを活用することが可能です。

お申込みは、右記二次元コードよりお願いします。

詳細・問合せ 名古屋商工会議所 産業振興部 モノづくり・次世代産業グループ 岡崎

TEL：052-223-6750、Email：mono zukuri@nagoya-cci.or.jp



■ 課題提示から解決プラン提案までのプロセス

STEP 1 課題・テーマの提示（10月末）

貴社が検討したい「東南アジアで展開してみたい事業」や「新規事業のアイデア」等のテーマをご提示いただきます。

STEP 2 チーム編成（11月末）

ご提示いただいたテーマをもとに事前調整を行い、名古屋大学生とシンガポール国立大学（NUS）生による混合チームを結成します。

STEP 3 ワークショップ・授業（2027年1月～3月）

全6回（約40時間）の集中講義を通じ、専門家講師陣の指導のもと、学生がテーマに対する初期アイデアや検証案を練り上げます。

STEP 4 最終アイデア発表（2027年3月26日予定）

学生チームが検討した新規事業・東南アジア展開のコンセプトアイデアを貴社に向けてプレゼンテーションします（英語での発表となります）。

■ プログラム・インストラクター紹介

本プログラムでは、シンガポールと日本のビジネス現場を熟知し、アカデミアとビジネスの両輪で実績を持つ以下のメンター陣が直接指導にあたります。



今泉 寛 氏

名古屋大学 総長補佐・特任教授（シンガポール在住）

マイクロソフト、アドビをはじめとする欧米ソフトウェア企業にてアジア太平洋地域統括業務実施。起業家。東海国立大学機構スタートアップ統括室と名古屋大学Deep Tech Serial Innovation Center教員兼任。グローバルIT業界での豊富なマネジメント経験と起業家実績を活かし、プログラム全体を統括。

シカゴ大学MBA卒 / サンタクララ大学LLM(知的財産権)卒 / 慶應義塾大学卒



鈴木 翔一朗 氏

楽天キャピタル シニアパートナー / VC Investments Head

楽天グループの投資部門責任者。シンガポールを拠点に8年間の投資実務経験を持ち、東南アジアのアーリーグロース期スタートアップ投資に精通。投資家視点からの精緻な財務戦略とアドバイスを提供。

東京大学経済学部卒 / シカゴ大学 MBA (Honors)



織田 一彰 氏

(株)スローガン共同創業者 / (株)K Consulting 代表取締役 / 名古屋大学客員教授

日本におけるアントレプレナーシップ教育および新規事業組織づくりの第一人者。スタートアップ・新規事業を成功に導くための組織構築、チームビルディング、起業家マインドセットを直接指導。



吉田 芳弘 氏

元 博報堂コンサルティング・アジアパシフィックMD (Managing Director)

10年以上にわたりシンガポールを拠点に、東南アジア、中国、インドにおける日系企業のブランド戦略・マーケティング支援を指揮。実践的な市場開拓手法（GTM）と、グローバル投資家に響くプレゼン術を伝授。

早稲田大学大学院修了（MS/BS） / シカゴ大学 MBA